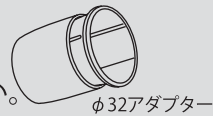


# 遮断機式手すり先端面付けブラケット 施工説明書 BF-22

遮断機式手すり先端面付けブラケットは、手すりを向かい合った柱や壁に取付けて、手すり棒を開閉可能にする部材です。安全に使用して頂けるよう、またトラブルの無い確実な取付けをして頂くためにも、施工の際によくお読み頂き以下の事を必ずお守りください。この施工説明書は大切に保管してください。

## 施工上の注意

- 当製品は室内用です。屋外および浴室には使用できません。
- 木製手すりと連続してご使用される場合は必ず35シリーズ・32シリーズのブラケットをご使用ください。
- φ35、φ32手すり兼用です。φ35をご使用の場合は、予め嵌め込んであるφ32アダプターを取りはずしてご使用ください。φ32をご使用の場合はφ32アダプター、スペーサーをご使用ください。
- ブラケットピッチは φ35の場合、900mm以内 φ32の場合、700mm以内 で取付けてください。
- 下地の無い場合は下地補強をしてください。
- ドアの錠前などが手すりに当たる場合は、壁にベースプレートを取付けて、ブラケットの出寸法を変えてください。
- 軸側ブラケット横受けは、使用時に手すり棒が急落下しない回転の硬さに設定しています。取付け時に回転させる場合には両側に手すり棒を差込んで回転させてください。
- 階段など傾斜部にはご使用になれません。



警告

!外開き扉部分に使用される場合は、閉じ込め事故等にご注意ください。  
 !この商品は手すり棒先端のラッチソケットがキャッチプレートに確実にセットされている時に強度が保持されます。キャッチプレートにセットされた時には、毎回確実にセットされていることをご確認ください。  
 !手すり棒を垂直にセットした(ラッチソケットをキャッチブロック横受けにセットした)状態で、縦手すりとして使用しないでください。  
 !手すり棒を垂直にセットする場合、セットが不十分だと事故や作動不良の原因となりますので手すり棒先端のラッチソケットがキャッチブロック横受けに確実にセットされていることをご確認ください。  
 !キャッチプレート・キャッチブロック横受けから外された時に手前に引っ張るなどの力がかかると壊れる恐れがありますので絶対にしないでください。  
 !軸側ブラケット横受けに潤滑剤を塗布されますと作動不良の原因となりますので、絶対にしないでください。

○ 水平になる

✗ 斜めになる

※キャッチブロック横受けの取付け方法については施工手順を参照願います。

お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

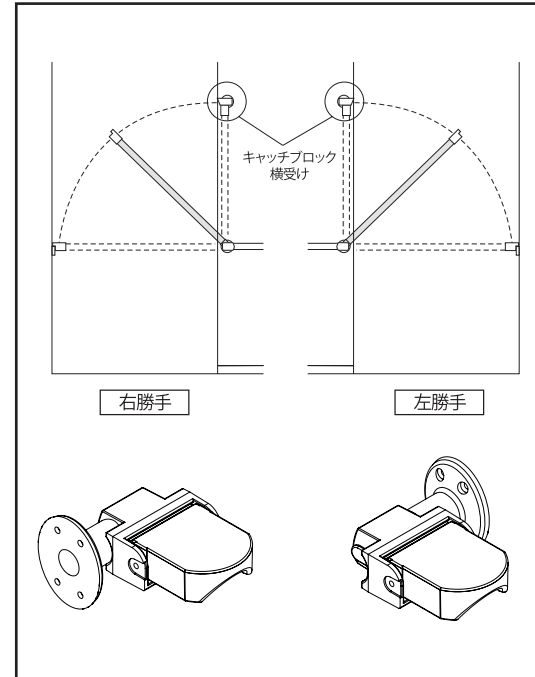
## 遮断機式手すり先端面付けブラケット[BF-22] 梱包部品図

1	2	3	4	5
キャッチブロック横受け	軸側ブラケット横受け	ラッチソケット	キャッチプレート	エンドキャップ
<p style="font-size: 0.7em;">左右兼用タイプ 六角穴付き M6 ボルト キャッチブロック 本体 ラッチソケット キャップ 脚金具 図は左勝手</p>	<p style="font-size: 0.7em;">左右兼用タイプ 注意シール ※棒を差し込むと動きます。 ※L字に折り曲げた状態で梱包されています。 ※注意シールは施工後はがしてご使用ください。</p>			
6	7	8	9	
φ32アダプター	スペーサー	ブラケット取付けねじ	手すり取付けねじ	
<p style="font-size: 0.7em;">※出荷時は軸側ブラケット横受け、ラッチソケットにセットされています。</p>	<p style="font-size: 0.7em;">厚さ 4mm</p>	<p style="font-size: 0.7em;">※取付けの際には壁にφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿タビソねじ3.5×40</p>	<p style="font-size: 0.7em;">※取付けの際にはφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿タビソねじ3.5×20</p>	

## 遮断機式手すり先端面付けブラケット[BF-22] 梱包部品一覧

番号	部品名	仕様	数量
1	キャッチブロック横受け(本体・脚金具)	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
	キャッチブロック横受け(ラッチソケットキャップ)	POM	1個
2	軸側ブラケット横受け	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
3	ラッチソケット	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
4	キャッチプレート	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
5	エンドキャップ	ABS	1個
6	φ32アダプター	ABS	3個
7	スペーサー	ABS	2個
8	ブラケット・キャッチプレート取付けねじ ⊕丸皿タビソねじ3.5×40	鉄製	11本
9	手すり取付けねじ⊕丸皿タビソねじ3.5×20	鉄製	5本

## 先端面付けブラケット 取付け勝手参考図



## キャッチブロック横受け 組立て手順

取付け勝手に合わせてキャッチブロックを組立ててください。  
※対辺5の六角レンチをご用意ください。

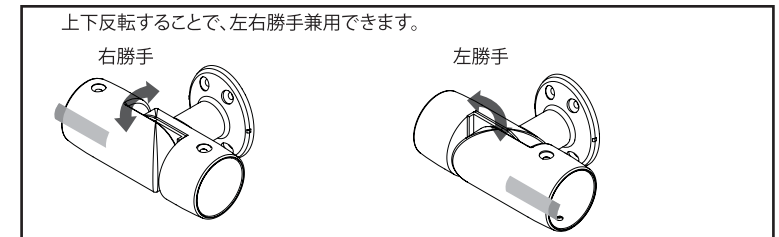
- ①左右勝手を決めます
- ②脚金具を六角穴付きM6ボルトで固定します
- ③ラッチソケットキャップを嵌めます

六角穴付き M6 ボルト  
②  
バネ座金  
※ゆるみ防止のため必ずご使用ください  
脚金具  
図は左勝手

⚠ 注意

六角穴付きM6ボルトは確実に締め込んでください。確実に締め込めていない場合、使用時ケガにつながる恐れがあります。

## 軸側ブラケット横受け 外観図

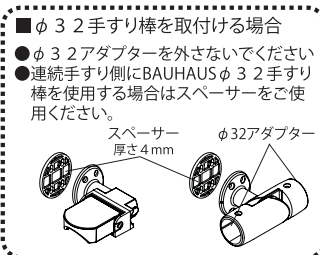
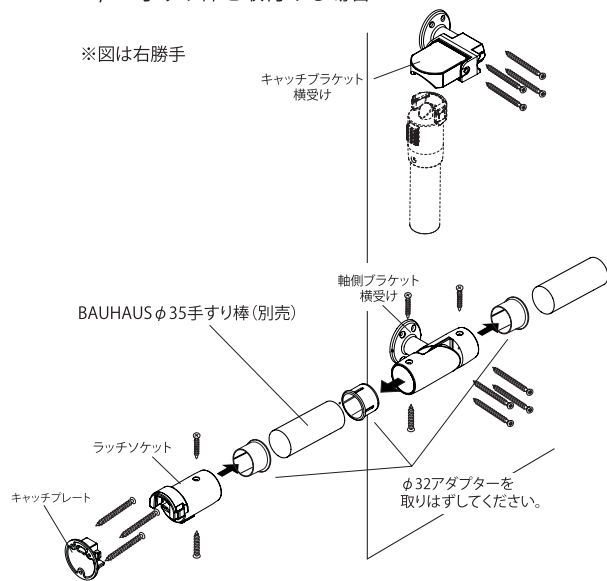


# 施工手順

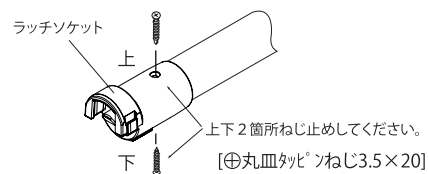
お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

## ■φ35手すり棒を取付ける場合

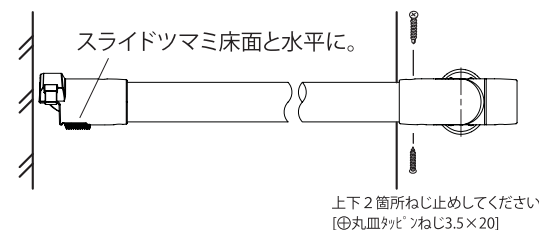
※図は右勝手



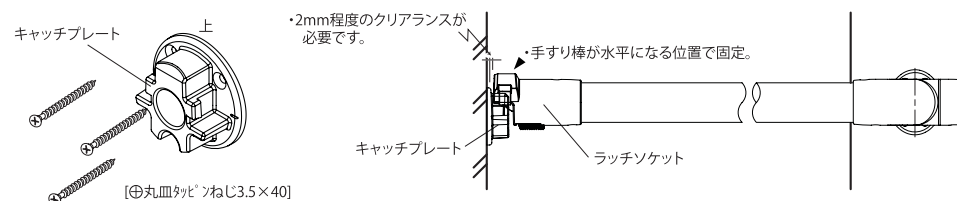
## 3. カットした手すり棒に、ラッチソケットを差し込み、ねじ止めしてください。



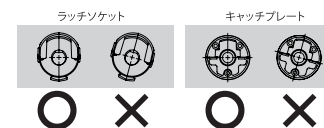
## 4. ラッチソケットを取付けた手すり棒を、軸側ブラケット横受けに差し込み、スライドツマミが床面と水平になる位置で、ねじ止めしてください。



## 5. キャッチプレートを壁に当てて、手すり棒が水平になる位置で取付けてください。

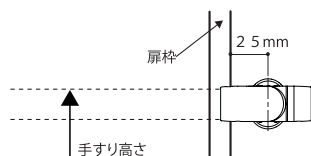


◎注) ラッチソケットとキャッチプレートは必ず垂直にセットしてください。斜めにセットするとラッチの噛み込みなどの誤動作の原因となります。



## 1. 軸側ブラケット横受けを取付けます。

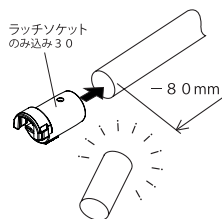
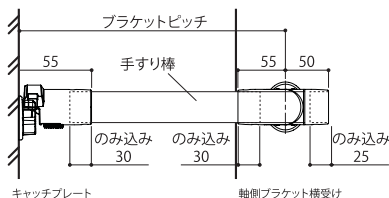
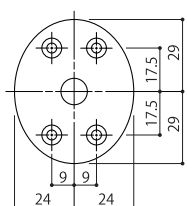
扉枠からブラケットのセンターピッチで25mm以上取ってください。  
注) 廊下等の横手すりと連続で使用される場合は、その高さに合わせてください。



## 2. 手すり棒をカットします。(手すり棒長さ=ブラケットピッチから、-80mm)

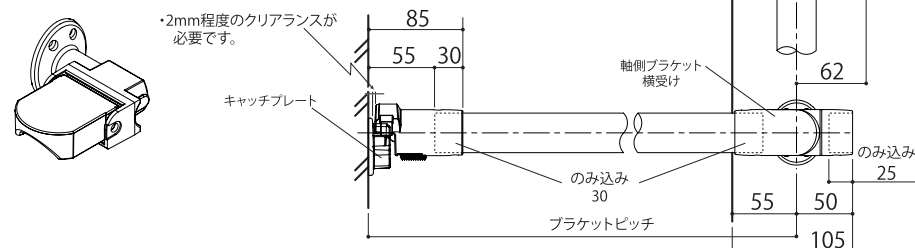
カットした後ラッチソケットを差し込みます。ねじ止めはまだしないでください。

ブラケット座寸法



## 6. キャッチブロック横受けを取付けてください。

- ◎手すり棒が垂直でロックされる位置にキャッチブロック横受けを固定します。クリアランス目安=9mm。
- ◎下地材があることをご確認ください。



## 7. 各部品がしっかり固定されているか、ロックが掛かるか、動作確認を行ってください。

お問い合わせ先

**マツ六株式会社**  
商品企画部  
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号  
TEL. 06-6774-2255 FAX. 06-6774-2248  
http://www.mazroc.co.jp